

2022 年東京都春季支部 3 位決定戦

ライバルセガサミー戦 13 回熱戦を制す

2022 年 94 回都市対抗東京都代表二次予選の組合せシード権獲得。

一次予選から 3 チームが参加し 8 チームトーナメント(優勝第一代表)・敗者決定戦(第二・三・四代表)で東京都代表 4 チームを選出する。

3 位決定戦に勝利し第二シードが確定?本戦が戦い易くなった。

試合は初回に先発高杉が制球定まらず先頭打者にレフト前ヒットと 2 四球ライト犠フライで先取点を許す。2 回裏明治安田は先頭打者 5 番指名打者小川がセンター前ヒット 6 番羽根がライト前ヒットで無死 3・1 塁チャンス 7 番道端がセカンドの好守備で 4 - 6 - 3 の併殺打の間に小川が同点ホーム追いつく。4 回先頭打者小川が選んで四球、6 番羽根がレフト線へ二塁打無 3・2 塁の勝越しのチャンスに 7 番道端セカンドゴロで小川が勝ち越しのホーム。6 回 4 番泉澤四球、5 番小川センターフライ 6 番羽根がレフト線を破る適時二塁打で 1 塁走者泉澤一挙ホームへ 4 対 1 とリードする。6 回から好投の高杉から円熟した三宮に継投、三宮 6 回を三者凡退。7 回二死走者なしから死球・一塁手エラーとして 3 番を迎えワンストライク後レフトスタンドへ同点 3 ランを浴び 4 対 4 の同点となる。8・9 回とも両チーム得点無く。

明治安田は 9 回から中崎投手が三番手で登板。

10 回からは同点のまま無死 2・1 塁からの場面のタイブレークの延長に入る

10 回・11 回両チームバンド失敗等まずい攻撃で得点できず。

12 回表セガサミーは先頭打者投手前バンドヒットで無死満塁とする。次打者を三振に打ち取り、次打者をセカンドゴロ併殺の間に 5 対 4 と勝ち越される。

12回裏明治安田の反撃開始。2番木田、投手前バンドは3塁封殺なり1死2・1塁3番福岡選んで四球、1死満塁と続く、4番途中出場の永廣セカンドゴロでの間に三塁走者井村が同点ホーム。

13回からベテラン大久保投手が登板し3ラン同点を打たれた3番根岸を三塁併殺打に打ち取り次打者を投手ゴロ無失点。13回裏好調の6番羽根はセンターフライ7番2打点とチャンスに強い道端は期待に応えライト越しサヨナラ二塁打で13回延長戦を制す。3位を勝取り本戦の第二シード。おめでとう明治安田生命野球部//

四球	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6
安打	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	7
セガサミー	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	5
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
明治安田生命	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	1X	6
四球	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	7
安打	0	2	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	8

(選手名敬称省略)

打撃成績

		選手名	打数	安打	四球	三振	打点	得点	犠打
1	(6)	高瀬	3	1	1	2	0	1	1
2	(5)	木田	4	0	1	0	0	0	1
3	(3)	福岡	5	0	1	0	0	0	0
4	(9)	泉澤	3	0	1	2	0	1	0
	H	伊藤	1	0	0	1	0	0	0
	(9)	永廣	1	0	0	0	1	1	0
5	(指)	小川	3	1	1	0	0	0	0
	(指)	橋内	1	0	0	1	0	2	0
	(指)	岸本	1	0	0	1	0	0	0
6	(7)	羽根	6	4	0	0	1	1	0
7	(2)	道端	5	1	0	0	2	0	1
8	(4)	金子	4	0	0	1	0	0	0
	(H4)	新城	0	0	1	0	0	0	0
9	8	鈴木	2	0	0	0	0	0	0
	(H8)	井村	3	1	0	2	0	0	0
			42	8	6	10	4	6	3

投手成績

選手名	イニング	球数	打者	被安打	与四死	奪三振	失点	自責点
高杉	5回	86	22	2	5	4	1	1
三宮	3回	41	13	3	1	2	3	0
中崎	4回	38	12	2	0	2	1	0
大久保	1回	11	2	0	0	0	0	0
	13回	176	49	7	6	8	5	1

試合前スコアボード



試合終了スコアボード

13回 6 X-5 タイブレーク



ド



先発高杉投手

5回 1失点の好投

13 回表好投の大久保投手

三塁併殺打と投手ゴロで無失点



打撃好調(6—4)羽根選手

13 回裏サヨナラ勝ちの左中

間に二塁打殊勲道端選手



2022 年 3 月 25 日

土田唯雄

2022年東京都春季支部大会準決勝対東京ガス戦

8回投手継投策失敗2死走者無しから四球・内野エラー・死球・2死満塁から2点適時打で2点3対1。9回表羽根選手・森川選手の連打で1死2・1塁のチャンスも9番打者ライト・フライで2死となるも1番高瀬選手のサードゴロを1塁悪送球で1得点、2死3塁・2塁の逆転のチャンス代打橋内選手四球で2死満塁、3番指名打者小川選手に望みをかけるもセカンドゴロで逆転ならず3対2で惜敗。

前半は先発児玉投手2回2死から7番打者に本塁打を浴び先取点を許す(3回1失点)。以降8回まで小林投手(2回無失点)・北濱・三宮投手(各1回無失点)8回森井投手2死からし四球・内野エラー・四死球で新井投手に継投するも2点適時打を打たれ中崎投手にバトンタッチ次打者をセンターフライに抑える。

攻撃陣は4回先頭4番泉澤選手の安打・盗塁、1死2塁から6番新城選手のセカンドゴロで3塁へ、羽根選手四球1死3塁・1塁から8番キャプテン森川選手がセンターへ同点適時打。以降2安打と抑えられる。

特に8回は東京ガスのエースが登板し、クリンナップの3・4・5番が連続三振と打ち取られる9回に1点差まで追い上げるが2死満塁のチャンスを生かせず敗退//

打撃成績・投手成績は野球部本郷マネジャー報告(明和会ホームページに掲載)を参照願います。

四球	1	0	0	1	0	0	1	0	1	4
安打	0	1	0	2	1	0	1	0	2	7
明治安田生命	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
東京ガス	0	1	0	0	0	0	0	2	X	3
四球	0	0	0	0	1	0	0	2		3
安打	1	1	1	2	0	0	0	1		6

3位・4位決定戦は3月24日11時30分試合開始予定。対戦相手はNTT東日本対セガサミー戦の敗者

2022年3月23日

土田唯雄

2022 年東京都春季支部大会開催第一戦 鷺宮製作所戦完勝 7 対 2

1 番高瀬選手勝越しの二塁打・6 回ピンチ無死二塁・一塁を救援
3 番手大久保投手ピンチを抑えるとその裏キャプテン森川選手
がダメ押しの 2 点二塁打で鷺宮を 7 対 2 と突き放す。

四球	0	0	0	1	1	1	0	1	0	4
安打	1	1	1	1	0	2	0	1	0	7
鷺宮製作所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
明治安田生命	0	0	1	2	2	2	0	0	X	7
四球	0	0	4	2	2	0	0	0		8
安打	0	2	0	2	2	3	0	0		9

久しぶりの明治安田生命野球部の球場観戦と胸を躍らせながら 2 時間かけて大田スタジアムへ。2022 年東京都春季支部大会第一戦鷺宮製作所戦を観戦。

試合は明治安田生命の先発石毛投手 2 回を無失点で抑え 3 回から新人高杉投手(東海大)に交代 3 回 2 失点、6 回 7 回大久保投手・8 回森井投手・9 回中崎投手が無失点の勝利リーレで完勝した。(勝利投手 高杉投手)

打撃陣は 3 回相手投手の制球難から 4 四球で先取点。4 回は 1 死 2・3 塁から 1 番高瀬選手レフトへ 2 点適時打。5 回 1 死満塁から 9 番新人鈴木選手(早稲田大)がレフトへ適時打、1 番高瀬選手粘ってフルカントから見極めて四球押し出し点この回 2 点追加。6 回 1 死満塁から 8 番森川選手レフトへダメ押し 2 点適時打で 7 点目とする

この試合は投打のバランスが良く快勝。次回の強敵前年度都市対抗野球大会優勝

